

# 王寺町総合計画(第2期総合戦略)効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人)				コメント
			A	B	C	D	
1 住民に関われ自立するまちづくり	協働による仕組みづくりや効率的な行政経営により、行政サービスの充実を図る	(1)協働の仕組みの構築	2	10	1	0	<p>次第にコロナ禍の影響を脱すると考えられる。まちづくり基本条例という基盤ができているので、数年後にはその成果が現れると思われる。まちづくり協議会の成功事例(先進事例等)を見える化していく必要がある。町民・自治会等へのより一層の啓発が必要。情報提供に関しては、コロナ化を逆に取ったシステムづくりが功を奏したと思われる。今後コンテンツがより重要となる。SNSのフォロワー数が増えたのは、コロナ禍で情報が欲しい人が爆発的に増えたのが原因ではないか。オープンデータは、町独自のものが少なく、今後の展開が期待される。また、活用へのインセンティブが必要。オープンデータも活用する民間主体が育っている必要がある。</p> <p>町公式SNS、特にLINEでの発信は、フォロワー数も多く必要な情報がわかりやすく発信されているのでとても良いと思う。</p> <p>成果指標「協働によるまちづくりについて、推進すべきと考える人の割合」が増加したのは、まちづくり基本条例の制定とPR啓発の効果。オープンデータに更新されていないものがある。行政の透明性からも適時適切な広報発信が必要(部署により温度差)</p> <p>コミュニティの希薄化を感じるが、同様に協働の仕組みの構築への理解度が深まっているように感じる。</p> <p>町公式SNSのフォロワー数が増えた事により多くの人に情報が届き、住民の関心が高まっている。</p> <p>コロナの影響により、対面を要する目標を中心に低位となるものの、町の公式サイトやSNS等フォロワー数は目標を大幅に上回る堅調な推移となっており、一定の効果が得られているものと思料。今後は各地域活動を再開し、継続的な啓蒙活動を実施することで目標達成が見込まれる。</p> <p>住民のまちづくりに対する意識をどのように高めていくかは、今後も大きな課題であると考え。</p> <p>町公式SNSのフォロワー数が伸びているので、うまく活用して住民の満足度が上がるのを期待します。</p> <p>(全体を通じて)個別の対応ではなく、共通DX基盤の充実強化が必須。それを活用して全体最適をめざす。</p> <p>一定の成果をあげているが、特定の層以外への展開が従来形式であり、より広範な仕組の工夫が必要。外部が活用できるオープンデータの拡大とEBPM(Evidence-Based Policy Making)の展開が必要。</p>
		(2)お互いを尊重するまちづくり	0	6	6	1	<p>審議会等の女性委員の割合は、行政の取組で進むはず。固定概念を払拭し、積極的に拡大すべき。</p> <p>コロナ禍で人権学習懇談会ができなかったが、以前から参加者が減少し内容の見直しが求められていた。人権の重要性の意識を向上させるためにも啓発の工夫が必要。王寺町男女共同参画計画が令和5年3月に策定され、これを契機に意識の醸成につながる取組を期待。</p> <p>人権学習、教育、啓発等々、地道に続けていくしかないのだろうか？新しい発想はないか。</p> <p>コロナにより人権学習懇談会ができなかったが、再開するにあたり住民の参加者が1人でも多く増えるようPRと中身の再考が必要</p> <p>人権学習・啓発については、コロナウイルスの影響によりセミナーや懇談会の実施を控えたことから低位となるものの、女性の就職率については、テレワーク施設等の設置が奏功していることから一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>住民の意識を高めることや住民参加を促すことについて、行政のできることは限られているが、審議会の女性委員の割合は、町でコントロールできるので、まずは女性委員の数を増やすべき。</p> <p>女性活躍は成果をあげているが、より推進が必要。</p>
	協働による仕組みづくりや効率的な行政経営により、行政サービスの充実を図る	(3)健全で効率的な行財政運営	5	6	2	0	<p>予約システムと電子申請等とは別物なので、区別してデータを作成すべき。マイナンバーは、ポイント付与・保険証合体の効果が大きいと考えられる。この指標はその後は意味を失うのでは。経常収支比率の改善は一過性ではないか。</p> <p>KPIIに表された施策の評価だけでなく、施策を「体系」として見る必要がある。コロナ禍で(活動)できなかった事象については、「新しい行政施策」をつくり出す必要がある。</p> <p>KPIを達成している成果指標は多いが、ICTの活用など利便性・使いやすさと満足度はどうなのか。広域連携の重要度が高い中、令和4年度に中和・西和7市町による公共施設相互利用実証実験が始まったが、生活圈を考慮した枠組の検討も必要。</p> <p>電子申請利用率やマイナンバーカード交付率等計画を大幅に上回っており、市町村間の広域連携でも概ね計画通りの推移であることから、高い効果が得られているものと思料。</p> <p>順調に推移していると思われる。</p> <p>DX化を推進することでより効果を出したい。</p>

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人)				コメント
			A	B	C	D	
2 快適で暮らしやすいまちづくり	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる	(4)都市基盤の充実	2	3	7	1	<p>住宅の耐震性向上は、制度によらない行動が規模的にも効果的にも大きい。補助制度だけで見ると過少になる。町民の自主的防災力対応を啓発していく必要がある。下水道水洗化率は飽和に達しているため、指標を変更することも要検討。</p> <p>「空家等対策の推進に係る特別措置法」の改正による固定資産税の制度変更により、更なる空家対策の進捗に期待する。</p> <p>西和医療センター移転整備先の再検討の結果次第で王寺駅周辺のまちづくり計画が変更を余儀なくされる。住民アンケートの重要度が極めて高く地域の命を守る基幹病院として王寺駅南側への移転整備を実現してもらいたい。下水道の整備の満足度は高いが、未整備区域の方のニーズはどうか。</p> <p>「王寺駅周辺のまちづくり」に期待する。空き家の利活用に妙案はないものか。</p> <p>駅周辺への西和医療センター移転案や国道168号整備事業や上下水道事業についても概ね計画通りの推移となっていることから、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>藤居地区、舟戸地区の下水道はいつできるか。</p> <p>GIS技術が高度になってきている。単に地図にプロットするという利用から、いろいろなシミュレーションなどの情報を積極的に収集して活用してはどうか。</p> <p>山下知事の公共事業見直し査定の結果が今月12日に発表されました。西和医療センターの王寺駅南口への移転について、査定結果では、現在の予定地は狭く、既存施設の移転補償などが必要、他の候補地を含めて検討、今年度予算6,800万円は減額する、と新聞に掲載されています。また、昨日のテレビで山下知事は、「アクセス、土地の面積地形、費用対効果、スケジュールなどの観点で他の候補地と比較検討し、適地を選びたい」と答弁しています。また、来月中旬に西和7町と意見交換するとの事です。総合医療センターが鉄道アクセスのない不便な場所に移転したこと、山下知事が比較検討と言いつつも内容的に明確に否定していることから、王寺駅南口のアクセスの優位性は失われており、他町の候補地に負けることが危惧されます。</p> <p>そこで、王寺町としてまちづくりの新たな核とするために、新たな候補地を追加して応募していただきたい。</p> <p>(追加候補地の私案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・王寺小学校跡地 約1.6ha、浸水リスクなし、文化財調査は県、町用地費収入約10億円、校舎解体もクリア</li> <li>・三郷町総持寺地区 JR王寺駅北約450m、約3.4ha、調整地工事中、地盤嵩上げ造成、三郷町と共同応募</li> </ul>
		(5)交通ネットワークの整備	0	1	10	2	<p>実現性の低い指標は変更も検討を。この項全体的に指標の点検・見直しが必要か。</p> <p>高齢者の免許自主返納が進んでいるが、生活の足の無さに直面されている方が多く、町内に小型バス運行による増便希望の声がたくさんある。実現に向けた改善は考えられないか？</p> <p>KPI「生活道路の整備に関する満足度」「公共交通の整備に関する満足度」の進捗状況の内容は適切なものか？(満足度を測る視点なのか?)。後期基本計画の5年間のうちには進捗が見えるはず。</p> <p>畠田駅前開発、国道168号の拡幅工事が進まなければ早期のネットワーク整備は難しいのではないかと。関空からの直通バス路線の進捗状況に疑問。</p> <p>路線バス、JR和歌山線の減便により不便になった。</p> <p>生活道路の整備並びに公共交通機関とのバス停設置や関西国際空港への直通バス導入等において目標達成が困難な項目も出てきており、やや不十分な効果に留まっているものと思料。</p> <p>目標達成が不可能な指標については、指標の削除か変更を考えるべき</p> <p>人流をデータ化し、公共交通と共有することで、より住民サービスの向上につなげる施策の検討はできないか。</p>
		(6)環境への配慮	0	6	6	1	<p>リサイクル率が低いのは、手法・仕組みに問題があるのではないかと。</p> <p>コロナ禍で行事も減少し、都度行われていた清掃美化活動の重要性を感じている。今後は多くの活動が再開し、きれいな街になることを期待する。資源ごみ回収ステーションは有効。</p> <p>CCCの取組、再生資源回収助成は、実施当初との推移など検証が必要(長期にわたり、同内容で施策を継続している)</p> <p>収集員の現場の目・声も施策に活かしてもらいたい。</p> <p>ごみのリサイクル率アップの方策を考えよ。</p> <p>クリーンキャンペーンが行われるようになり、地域がきれいになった。</p> <p>ごみのリサイクル率向上については、苦戦をしている様相であるが、一般家庭ごみの排出量も減少傾向となっており、今後クリーンキャンペーンの再開に伴う景観美化意識の高まりも期待できることから、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>ごみのリサイクル率以外は順調に推移しており、ごみのリサイクルについての町民への効果的な啓発方法を検討すべき。</p> <p>ごみに関する情報提供の拡大を。収集申込みの24時間化など利便性向上のために現行DX基盤を活用(LINE)</p>
(7)水と緑の保全と創出	0	6	7	0	<p>これらの指標からだけでは良好な都市景観が形成されていることが分かりにくい。</p> <p>政策が水と緑の保全と創出になっているのに、施策が都市景観だけでは不十分だと思う。適正な樹木の伐採や管理など入れるべきでは？</p> <p>KPI「都市景観に関する満足度」向上の要因・分析は？</p> <p>国道168号の無電柱化延長については、後期基本計画5年間のうちには進捗が見える。</p> <p>都市景観の満足度については目標を大きく上回っていることから、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>無電柱化と住民の景観満足度は無関係で、指標を検討すべきでは。</p>		

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人)				コメント
			A	B	C	D	
3 安全で安心して暮らせるまちづくり	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる	(8)地域防災の充実	0	6	7	0	<p>防災士資格取得者と地域コミュニティ政策とつなぐことが必要</p> <p>「個別計画」や「自主防災組織」については、自治会で対応するより、「まちづくり協議会」で地域防災計画を策定し、担う方が現実的か。</p> <p>高齢者の一人暮らしは、要支援者の対象となっていて、平常時何らかの関わりを持つことができるが、高齢者夫婦のみの世帯は、見守り体制が困難なことから、要支援者の対象として考えられないか？</p> <p>防災・減災広報が不足している。アンケートにおいて町や地域の情報取得方法の最も高い町広報紙「王伸(87.2%)」を活用していない。防災士ネットワークが各自主防災会の取組を「王伸」で紹介しているが、町防災訓練の実施報告を掲載しないなど町の取組が見えない。</p> <p>避難所(開設・運営etc)単位の訓練が必要ではないか。(現段階で住民がどこまでできるか見極める)</p> <p>個別計画作成を急ぐべき(命の安全)</p> <p>防災に対する住民意識がまだ低い</p> <p>防災士資格者数・「王寺町安全・安心メール」及び「LINE公式アカウント」登録者数は堅調に推移しており防災意識向上において、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>一定の成果が見られるのでは。</p> <p>LINE等の新しい情報伝達を更に充実させることが必要。参加者連絡等。</p>
		(9)日常生活の安全確保	3	7	3	0	<p>防犯、交通安全については、一定の成果があがっている。</p> <p>西和警察署が学校への出前講座(交通安全や不審者対応)、町行事への啓発グッズ等の提供などを実施されており、敬老会においても特殊詐欺対策の講話も予定されているとのこと。このような啓発は有効であり、今後も警察と連携を密に取組を推進してもらいたい。</p> <p>警察との連携や啓発活動に一定の効果がみられると思う。</p> <p>警察との連携強化・交通事故に関する啓蒙活動が奏功し高い効果が得られており、今後も継続的な活動を実施することにより、日常生活の安全確保は高まるものと思料。</p> <p>町の施策が効果を上げている。</p> <p>救命講習会を多くの人を受講することは町の安全につながると思う。</p> <p>多く防犯カメラの設置をしてほしい。自宅周辺の設置に補助金も。</p> <p>新型の犯罪に対応するため、事件発生事例を発信する仕組みが必要ではないか。</p>

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人)				コメント
			A	B	C	D	
4 健やかに暮らせるまちづくり	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障害者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる	(10)高齢者支援の充実	0	10	3	0	<p>高齢者福祉については、一定の成果があがっている。</p> <p>団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目前に控え、第9期及び第10期の介護保険事業計画の内容はこれまでの実績による評価だけでは難しいと感じています。</p> <p>高齢者の外出・生活支援として、美ヶ丘自治会によるグリーンスローモビリティ(電動乗用カート)の運行は、地域で支え合う素晴らしい取組である。公共交通のない舟戸山・藤井地区などに適した外出支援のあり方の研究も必要である。高齢者福祉の重要度は高く、このKPI達成の取組はごく一部であり有効なのか？</p> <p>コロナウイルス感染症対策の一環により外出を控えるなど不活発な状況が継続したことから目標値に対する推移は低位となり、現状はやや不十分な効果に留まるも、今後改善が見込まれるものと思料。</p> <p>コロナ禍の影響を考慮すると、一定の効果あり。</p> <p>従来から推進している福祉と医療の連携を具体的に推進すること。</p>
		(11)障害者支援の充実	0	9	4	0	<p>障害者福祉については、手話以外のボランティア活動も推進していくことが望まれる。</p> <p>このKPIだけでは見えない。グループホームや放課後デイサービスの開設数や定員・利用者数なども後期基本計画のKPI設定項目として検討してはどうか。</p> <p>「認知症なんでも相談窓口」の開設等ハード面での整備拡充や介護予防教室等の客観的評価(効果測定)実施等ソフト面での精度向上に取り組んでおり、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>コロナ禍の影響を考慮すると、一定の効果あり。</p>
		(12)健康づくりの推進	1	1	9	2	<p>がん検診率は、依然として低い。</p> <p>ウォーキングアプリ導入の早期実現を望みます。コロナ禍での受診控えは仕方のない状況であったと思いますが、継続的な受診勧奨は必要。</p> <p>健康づくりの満足度は比較的高い。KPIの項目について、他団体との比較による分析も必要。達成状況だけでは評価しづらい。</p> <p>KPIの数値についての説明を聞きたい。</p> <p>健康づくり項目については自宅待機等の影響により低位の推移となっており、やや不十分な効果に留まっているが、継続的な啓蒙活動により、今後改善が見込まれるものと思料。</p> <p>比較できない指標が多く、指標の変更を検討すべき。</p> <p>がん検診受診率は、会社などで受けている方も多いと思うので、どこでも受診していない人への対応が必要</p> <p>住民連携基盤(アプリ)を充実させることで、健康ポイント等が循環する仕組みを強化。</p> <p>厚労省が発表した2020年の市町村別平均寿命では、川崎市麻生区が女性89.2歳、男性84.0歳で男女とも1位でした。場所は多摩丘陵の山間部にある住宅団地で、長寿の秘訣は下ったら登る坂道ではないかと言われています。今回のKPIでは、コロナ自粛で、子供も大人も老人も心身ともに虚弱化が進行しているように見えます。長寿には、食事、運動、社会活動が重要とされますが、王寺町には、身近にウォーキング等が楽しむことができる明神山、大和川や葛下川の遊歩道、幹線道路には幅の広い歩道があります。</p> <p>一番身近な幹線道路をもっと親しみやすくするために、道路に愛称を付けたらどうでしょうか。国道168号、町道都市計画道路王寺香芝線などの呼び名を変えたら、親しみやすく楽しい雰囲気になると思います。</p>
		(13)地域で支え合うまちづくり	0	6	6	0	<p>介護ボランティアは、有償化の検討も必要か。</p> <p>地域におけるサロンの存在はとても有効と感じています。ボランティアスタッフが楽しみながら取り組むことができるよう、一定の町の支援は必要。継続することが大事です。</p> <p>ボランティア活動推進のための情報発信が不足している。今できることから行動しないと状況は変わらない。年間1人あたりの医療費減少の要因の70～74歳の医療費はなぜ減少したのか？</p> <p>サロン活動が再開され参加人数も少しずつではあるが増えてコロナ前に戻りつつある。</p> <p>手話育成講座・サロン等は活動自粛等の影響により低位に推移するものの、一人当たりの医療費については多剤投薬対策やジェネリック医薬品の利用促進等が奏功しており、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>コロナ禍の影響があるが、一定の効果あり。</p> <p>住民連携基盤(アプリ)を充実させることで、健康ポイント等が循環する仕組みを強化。</p>

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人)				コメント
			A	B	C	D	
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	すべての住民が生涯学び続けることができ、地域の歴史文化に親しめる町をつくる	(14)子ども・子育て支援の充実	2	10	1	0	<p>王寺町で子育てをしたいと思う親の割合が高いのは嬉しいポイント。全体的にKPI達成率が高く、取組の成果と思われるが、満足度は他施策に比べ特段高くない。休日夜間などの救急医療体制は満足度が低く、重要度が高いスコア値のままであるが、小児科医の不足など課題解消は難しい。</p> <p>ハード・ソフト両面での整備が行き届いており、子育て環境は概ね良好な状況であり、高い効果が得られているものと思料。</p> <p>概ね順調と考えられる(コロナ禍の影響あり)</p> <p>コロナ禍で人とつながることが難しい中で子育てをするという以前とは異なる状況の中で、孤立して困っている親子はいないか検診などの機会に気を付けて見ていくことが必要。</p> <p>子育ての課題や心配を具体的に汲み上げる仕組、AIボットなどでの24時間相談ができる仕組など新技術を積極的に採用もしくは改良する仕掛け。</p>
		(15)学校教育の充実	1	12	0	0	<p>成績と運動能力は、評価の対象として適切かどうか。</p> <p>義務教育学校開校により、中学校専科の教員が5年・6年へサポートに入ることへの効果に期待している。</p> <p>KPI「子どもをこの幼稚園に通わせてよかったと思う保護者の割合」の大きな減少には驚いた。義務教育学校への円滑な接続などの効果により保護者の不満が解消され、評価が見直されるはずである。ALTの全校配置や中学校教員の小学校へのサポートなど義務教育学校開校前からの取組の効果が表れている。</p> <p>心身ともに健康な人を育成すべく義務教育学校のメリットを生かした教育を望む。</p> <p>学習効果については、各種取組について徐々に成果が現れつつある状況であり、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>一部指標が取れないため、他の指標への変更を検討すべきでは。</p>
		(16)生涯学習の充実	0	7	5	1	<p>総合的な文化基本条例と計画の必要性を感じる</p> <p>図書館の貸し出し冊数は、蔵書数と比例関係にあるのではないかと。コロナ禍の影響大。</p> <p>コロナ禍により事業に制限がかかっていたと思われるが、これからの事業展開に期待します。災害時における中学生の協力には高い期待があり、そのためにも日頃から地域行事に参加してもらいたい。</p> <p>活動もコロナ禍前に戻るから、今後の取組に期待。野外キャンプ場「冒険の森」のオープンや図書館リニューアルの効果は？</p> <p>生涯学習拠点整備について、重要度スコア値が増加したのは何故か？(既に整備されていると思う)</p> <p>コロナ禍の影響により、地域行事の中止が相次ぎ市民参加型の項目については低調な状況であることからやや不十分な効果にとどまったものの、今後コロナ禍収束に伴い改善が見込まれるものと思料。</p> <p>コロナ禍の影響を考慮すると、一定の効果あり。</p> <p>コロナ禍収束後は、子どもたちも参加したいと思える行事の開催を期待。</p> <p>施設利用の更なる利便性向上。例えばキャッシュレス化、オンライン機能の強化。</p>
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住みたいと思える町をつくる	(17)歴史文化・スポーツ活動の振興	1	4	7	1	<p>総合的な文化基本条例と計画の必要性を感じる</p> <p>別の形での文化振興を考える必要がある。</p> <p>コロナ禍による行事制限が解除され、これからの事業展開に期待します。</p> <p>コロナ禍にあっても来場者数(定員)を抑制するなど工夫して事業を実施されていた。催事もコロナ禍前と同じように開催できるので、令和5年度以降の取組に期待する。</p> <p>コロナ禍の影響により、イベント・行事の中止が相次ぎ市民参加型の項目については低調な状況であることからやや不十分な効果にとどまったものの、今後コロナ禍収束に伴い改善が見込まれるものと思料。</p> <p>コロナ禍の影響により参加人数が減少しているが、今後に期待。</p> <p>人々の動きも活発になってきているので今後に期待</p> <p>eスポーツなど新しいイベントの実施。メタバースのような仮想空間を活用した案内やプロモーションの実施。</p>
		(18)活力の創出	2	6	5	0	<p>産業面での停滞の回復が見られない。</p> <p>人口は王寺町だけで考えていくわけにはいかない。広域的に人口が安定すればいい。</p> <p>東横INN開業により、周辺の飲食店は活性化が図られている。</p> <p>満足度スコア値では、「雪丸」を活用したまちづくりが上位3位の一方、産業の振興が最下位、重要度は商業の振興が極めて高く、実際どのようなことが求められているか分析が必要。定住促進に向け、王寺町を選んでもらえるよう、子育て支援の充実など町がもっとPR・発信すべきである。</p> <p>王寺町に住みたいと思う人の割合が増えているのは大変よいこと</p> <p>今後は王寺駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起するイベントが計画されており、活気あるまちづくりについては、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>住民の肌感覚の度合いが高いのではないだろうか。その感覚をどのように数値で表すか。</p> <p>王寺町で働きたいと考えている町民より、住みたいと思っている町民が多いということか。</p> <p>事業所数マイナス85は、どういった原因でしょうか。</p>
		(19)交流の促進	0	10	2	1	<p>住みたいと思える人の割合は、目標を見直し要か。</p> <p>「だるころ選手権大会」は、全国展開でのびしろのある楽しい企画が期待値大です。</p> <p>コロナ禍にあっても観光入込数、宿泊者数が増加した。(一方、明神山や達磨寺来訪者数は減少している)全国だるまさんがころんだ選手権大会や明神山烽火プロジェクトの実施は、王寺町の認知度をより高める話題づくりにも寄与している。</p> <p>雇用の創出において王寺町は第3次産業の割合が高く、コロナ禍の影響により事業所数の減少が続いていたが、今後は経済活動再開により地域のポテンシャルをフルに活用することで改善が見込まれ、更に住みたいと思える町民割合も高く、一定の効果が得られているものと思料。</p> <p>イベントの充実による来訪者数アップを期待。何度も訪れたいくなる工夫も必要。</p>

評価の視点 効果を得ることができているか。長期的な効果が見込めるか。事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。